

平成三十年度活動報告

平成三十年度活動報告

一、研究紀要発行、『仏教経済研究』第四十七号、平成三十年五月三十一日

二、例会発表（毎週火曜日、午後二時四十分より駒澤大学深沢校舎・仏教経済研究所内にて）

平成三十年四月十七日、工藤 豊「井上圓了における

『近代仏教』観」

四月二十四日、徳野 崇行「『精進料理』と日本人―近世料理書を中心に」

五月八日、辻井 清吾「信仰とビジネス―鈴木馬左也と大原孫三郎にみる―」

五月十五日、永井 俊道「関東三箇寺と江戸三箇寺の成立について」

五月二十二日、小谷 能久「カシミール・シヴァ派の修行論（2）」

五月二十九日、伊東 徹真、「私の師匠・原田湛玄老師自伝聞き書き No.219 から」

六月五日、パフマン・ザキプール「イランにおける仏教史」

六月十二日、工藤 豊「井上圓了の学問観」

六月十九日、藤本 典嗣「福島原子力災害における予算制約と除染の絶対化」

六月二十六日、胡 建明「明末清初天童密雲圓悟禪師の法嗣たちにおける評論について―特に『費隱禪師別集』における木陳道忞に対する費隱通容の批判に注目して―」

七月三日、村上 弘子「明治初期の高野山―布教と学制を中心に―」

七月十日、柴崎 文一「ヘーゲルを読む」

七月十七日、都通憲三朗「元曲に登場する民間信仰の神々」

九月二十五日、四津谷孝道「チベット社会におけるゲルク派の台頭の背景」

十月二日、松井 柳平「実験経済学管見」

十月九日、工藤 豊「江戸期の廃仏論―国体論への展開を考える―」

十月十六日、伊藤 良久「輪住地における輪番住職の一年―總持寺・最乗寺・大洞院の事例から―」

十月二十三日、鈴木 幸毅「『四苦八苦の世界』と仏教の捉える『幸福』観―環境サステイナビリティの幸福に向けて―」

十一月六日、坂本 要「死者の遺品を傘に吊り下げる習俗」

十一月十三日、山本 元隆「元照の菩薩戒体思想」

十一月二十日、永井 俊道「道徳教育における『畏敬の念』と『宗教的情操』について―「特別の教科 道徳」の教科書内容より―」

十一月二十七日、辻井 清吾「石門心学の現代的意義と経済思想について」

十二月四日、小山 一乘「稲妻 (lightning) で考える「特別の教科 道徳 (Special subject Morality)」の「畏敬の念」(Awe)」

十二月十一日、荒木 稔恵「M・ボランニーをどう読むか―共同主義の人類史的根拠について― 渡辺京二氏の講演より」

十二月十八日、胡 建明「中国仏教史上における求那跋陀羅の位置づけ―『四卷楞伽』と初期禪宗史における虚と実―」

平成三十一年一月十五日、徳野 崇行「地域社会における寺院の役割―夕張市の二寺院を中心として―」

※ 昨年度の例会発表に関し、左記の記載を欠落させてしまいました。ご発表いただいた辻井様と皆様にご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

平成二十九年五月三十日、辻井 清吾「信仰に見る経営理念と社会貢献への意義―土光敏夫とウィリアム・メレル・ヴォーリズ―」

三、調査活動

「地域社会における仏教寺院の役割」をテーマとした調査の実施

調査責任者・徳野崇行（仏教学部専任講師）

調査対象と寺院・台湾の台南・台北市における寺院調査（開元寺を中心として）

参加者・徳野崇行（駒澤大学准教授）、武井謙悟（駒澤大学大学院博士後期課程）、横山龍顕（駒澤大学大学院博士後期課程）

日程・平成三十一年三月六日～三月九日